

2021年7月～9月開催

千の葉の芸術祭
CHIBA CITY FESTIVAL OF ARTS

CHIBA FOTO ～写真芸術展

12名の作家が制作した、市内撮りおろしの作品やこの土地の歴史・場所の持つ記憶をリサーチした作品、そして、市民に「いま」見てほしい作品を、市内各所に点在する歴史ある建造物や人々が日々行き交う場所に展示します。それらの展示が街と人の「いま」「過去」「未来」を描き出します。

日程 8月21日(土)～9月12日(日)

※会場により休館日が異なります。

会場 市美術館、千葉公園、旧神谷伝兵衛稲毛別荘ほか

料金 無料

申込 当日直接会場へ



©Asako NARAHASHI, Chibaminato, 2019



ななめな学校

Chiba School for Arts and Media

(体験・創造ワークショップ) 発表会

ななめな学校は、アーティストやデザイナーが先生となり、日頃とは違った「ななめな」ものの見方でアート作品を制作する市民参加型のワークショップです。この夏の成果を発表します。

※ワークショップの募集は終了しています。

夏への扉 日記をつける、写真をとる ～写真展示

参加者がつづった日記と写真を使った2021年夏の記録を展示。期間中、ギャラリートークも予定しています。

日時 8月28日(土)～9月12日(日) 9:00～17:15

※入場は17:00まで。月曜日休館。

会場 市民ギャラリーいなげ

料金 無料 申込 当日直接会場へ

写真展示のほかにも、映画上映会、子どもたちによる仮装パレードや演劇発表など、ワークショップの成果を発表します。

各発表会の日程、会場など詳しくは、[千の葉の芸術祭](#)

特別公演

ワークショップ「えんげき作品をつくる」講師の関美能留さん(第3回千葉市芸術文化新人賞受賞) 演出による演劇。

日時 8月8日(日・祝) 開演16:00(開場15:30)

会場 市生涯学習センター 大ホール

定員 先着100人

料金 無料

申込 7月19日(月)から受付開始。方法など詳しくは、

[千の葉の芸術祭](#)

千葉市制施行100周年のこの夏、文化プログラム「千の葉(せんの葉)の芸術祭」を開催します。

もしアーティストの感性を通し周りを見てみたなら。そして、今の私たちにつながる伝統の中から、未来に向かって輝くものを見つけ出すことができたなら。きっと周りの世界は違って見え、千葉市の新しい魅力を発見することができるかもしれません。

各イベントの最新情報など詳しくは、[千の葉の芸術祭](#)

千の葉の芸術祭実行委員会事務局(文化振興課内)

☎043-245-5961 FAX043-245-5592

伝統文化と新しい文化の発信

会場 見浜園(幕張海浜公園)

伝統文化 華道体験会、邦楽演奏会

日程 8月6日(金)・7日(土) 午前・午後各1回

会場 松籟亭(しょうらいてい)ほか

定員 各5人 料金 無料

申込 7月1日(木)～21日(水)に電話で事務局【上記】へ。

応募多数の場合は抽選。

日本庭園で出会う
「伝統」と「先進」

新しい文化

生態系へのジャックイン展

夜の日本庭園を舞台に、現代アートやメディアアート分野で注目を集める新進気鋭の若手アーティスト14組の作品を、茶の湯のプロセスになぞらえて展示します。

日時 7月24日(土)～8月8日(日・祝) 18:00～21:00

※入場は20:30まで。8月2日(月)休演。

会場 園内 料金 無料

申込 事前予約。方法など詳しくは、[千の葉の芸術祭](#)



おとなり 市原市からもお知らせ! アスリートを絵で応援

前田健司さん(市原市在住)は、頸髄損傷を負い、手や足が動かさないうえ、口を使いイラストを描くアーティストです。パラスポーツの素晴らしさを伝えるため、パラアスリートのイラストを多く描いています。7月・8月にユニモちはら台(市原市ちはら台西3-4)で前田さんの作品が展示されます。

市原市オリンピック・パラリンピック推進室

☎0436-23-9872 FAX0436-21-1720



(提供) 市原市

各イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染状況などに応じ、入場制限や延期、中止、内容の変更などを行う場合があります。